SB-3301 （言語学） November, 2026

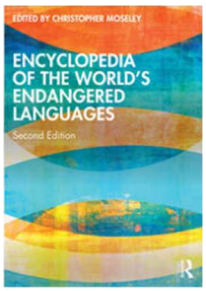
★ 言語学この一年の必携書をまとめてご案内★

言語学重要タイトル総集編 2026
Linguistics Key Titles 2026

本カタログでは、最近一年間の新刊書を中心に、今後の言語学の研究・教育において必携といえる新たな基本書を精選してご案内いたします。ぜひ図書館・研究室の蔵書充実にお役立て下さい。

言語・言語研究一般

世界危機言語百科事典（第 2 版）
Encyclopedia of the World's Endangered Languages



Edited by **Christopher Moseley**, University College, London, UK
2nd ed. 2027:02 916 p. ISBN 978-1-138-83192-6 GBP 290
Web 販売価格 ￥71,519 (税込) / **標準価格 ￥93,786** (税込)
(Routledge) -GB-

全世界に 6 千以上も存在するとされる言語の大半が近い未来に絶滅の危機に瀕しています。言語の絶滅は、コミュニケーションの手段にとどまらない、人類の知識体系、文化的記憶、多様な世界認識の喪失を意味し、危機言語に関する情報を収集・保存・記録し、その現状を正確に把握することは、言語学のみならず文化遺産保護の観点からも喫緊の課題となっています。

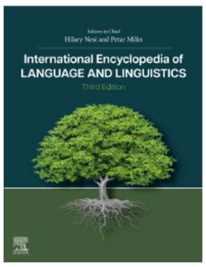
本書は、『世界民族言語地図』で知られる クリストファー・モーズレイを編者に迎えた「危機言語」の初の百科事典として大きな反響を得た初版（ISBN 9780700711970）の 20 年ぶりの全面改訂版です。初版刊行後の急激な社会と人口動態の変動を反映し、全章にわたって改訂を施し、一部の章は新たな執筆者を迎えて全面的に刷新しました。さらに、「太平洋・島嶼東南アジア」を扱う新章を加え、言語を特定する国際基準である ISO 言語コードを付与しています。地図も大幅に改訂・増補し、現在の言語分布をより正確に反映しました。編者による新序文では、言語危機の原因とその性質の変化を論じています。各地域の章は、世界各地域の第一線の研究者が執筆し、危機言語の系統分類と分布を概観したうえで、対象言語をアルファベット順に配列し、その分布、話者数、言語政策、社会的背景をまとめています。

〈Web 販売価格の適用条件〉
※ **Web** 販売価格（税込）は、弊社インターネット書店 **Kinokuniya BookWeb Pro**（https://pro.kinokuniya.co.jp/）でご注文され、付帯作業を伴わない納品を行い、弊社標準書式による請求書を発行し遅滞なくお支払いただく場合、あるいは、**クレジットカード**でお支払いいただく場合に適用される販売価格です。
※ 為替レートの変動、出版社の都合により価格は変更されることがあります。

現存する言語の約 90%にも及んでいる危機言語の最新の全体像を示す本書を、言語学はもちろん、地理学、地域研究、人類学、開発研究、国際関係論などにかかわる大学図書館、研究機関、研究室でご所蔵ください。

【収録予定明細】
1. North America / 2. Latin America / South America / Meso-America / 3. Europe / 4. North Asia / 5. Southern and Western Asia / 6. Africa and the Middle East / 7. The Middle East and North Africa / 8. East and Southeast Asia / 9. Australia / 10. Island Southeast Asia and the Pacific

言語･言語学国際百科事典 （第 3 版･全 14 巻）
International Encyclopedia of Language and Linguistics



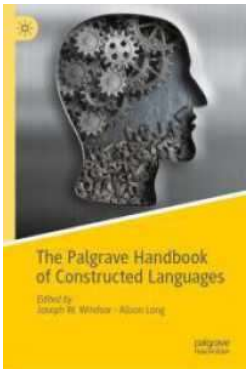
Editors-in-Chief: **Hilary Nesi** (Coventry University) &
Petar Milin (University of Birmingham)

3rd ed. 2026:06 14 vols. 9,000 p. set ISBN 978-0-323-95504-1 USD 8,130
Web 販売価格 ￥1,565,025 (税込)/ **標準価格 ￥1,949,574** (税込)
(Elsevier) -US-

人間を人間たらしめるものとして語られることが多い言語は、言語学はもちろん、人文・社会・自然科学の多様な学問分野で研究されている、極めて学際的なテーマです。1993 年の初版以来、言語および言語学の最も包括的なレファレンスとして好評を博し、日本でも 155 もの大学図書館に所蔵されている「言語・言語学国際百科事典」が、遂に 20 年ぶりの改版を迎えました（第 2 版 ISBN 9780080442990）。
全 14 巻にて約 3000 項目を収録する類書をはるかに上回る規模で、最近 20 年間の進展に対応して、既存の項目を改訂、アップデートするだけでなく、約 300 の新項目にて例えば機械学習や自然言語処理といった特に飛躍的な発展が見られた分野を数多くカバーしています。内容が古くなった部分は削除し、前版と同様の巻数・項目数を保っています。
言語学はもちろん、心理学、人類学、教育学、社会学、コミュニケーション学といった多様な分野の関心を結ぶ、図書館必携のレファレンスとして、広くおすすめいたします。

◎電子版も提供されます。詳細はお問い合わせください。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上で
収録明細をご覧いただけます。

人工言語ハンドブック
The Palgrave Handbook of Constructed Languages



Editors: **Joseph W. Windsor** (University of Calgary, Canada)
& **Alison Long** (Keele University, UK)

在庫

2026:07 499 p. ISBN 978-3-032-03276-8 EUR 219.99
Web 販売価格 ￥43,634 (税込) / **標準価格 ￥59,044** (税込)
(Springer) -DE-

中世のヒルデガルト・フォン・ビンゲンの「未知の言語」(Lingua Ignota) から、真の国際語の理想を担ったエスペラント、トールキンの『指輪物語』に登場するエルフ語、SF テレビ・ドラマ『スタートレック』でおなじみのクリンゴン語、近年でも『ゲーム・オブ・スローンズ』のドラスク語まで、古来の多くの人々を惹きつけてきた「人工言語」(conlang) の試みは、それ自体として壮大な言語思想・文化史をかたちづくってきました。
本書は、「人工言語」(conlang) の初のハンドブックであり、全 19 章にて、その歴史、分類、多様性、文化、メディア、教育、理論言語学、言語習得、社会言語学などにわたる幅広い探究のフィールドへと案内し

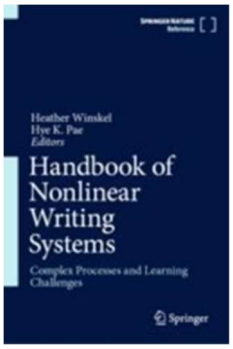
ます。編者・寄稿者は人工言語の研究者であると同時に実践者でもあり、David J. Peterson はドラスク語の作者として知られています。言語をつくることを通じて人類の言語の謎への新たなアプローチが開けます。
　言語に関心のある幅広い研究者と学生にアピールするレファレンスとして、おすすめいたします。

【収録明細】
A Divine Language Greening Language: The Spiritual Semiosis of Hildegard of Bingen's Lingua Ignota
Engineered Languages Creating an Authentic Alternate History via Glossopoesis: The Case of Outros 500 / Logical and Taxonomic Languages
Auxiliary Languages Interslavic / Guosa: A Common Language for the Economic Community of West African States
Artistic Languages Conlangs in Literature and Their Usefulness Toward Realism / The Value of Conlangs to Visual Media **/** Between the Art and the Science: A Reflection on Creating a Language for the BBC's Adaptation of The City and The City / Conlangs in Graphic Print Media / Conlangs in Video and Table-Top Gaming / Conlangs and Fine Art: Music
Constructed Languages in the Academy and as Sources of Data
Experiences with Conlangs in a Brazilian School: Pursuing Linguistic Literacy / The Role of Conlangs in Higher Education / Parisot's Taensa Grammar: Revisiting the First Scientific Hoax in Linguistics / Conlangs in Theoretical Linguistics / Conlangs in Typological Research / Constructed Language and Constructed Languages in Language Acquisition Studies: Similarities and Differences Between Natural, Lab, and Artificial Languages
Constructed Languages and Sociolinguistics Conlangs and Language Documentation Shared Practices / Creating Social Meaning Through Sound Symbolism and Aesthetics in Constructed Languages

書記体系

非線形書記体系ハンドブック

Handbook of Nonlinear WritingSystems：Complex Processes and Learning Challenges



Editors: **Heather Winskel** & **Hye K. Pae**
2026:08　712 p.　ISBN 978-3-032-01972-1

★在庫特価 61% off！弊社在庫限定（EUR 249.99）
Web 販売価格￥49,585 (税込) / **標準価格￥67,096** (税込)
通常価格（EUR 649.99）
Web 販売価格￥128,926 (税込) / **標準価格￥174,456** (税込)
(Springer) -DE-

　本書は、「非線形書記体系（Nonlinear Writing Systems）」という新鮮な切り口から、アルファベットを前提として発展してきた従来の識字研究の枠組みを超えて、漢字、かな、ハングル、アラビア文字などの多様な書記体系の複雑性と学習プロセスに焦点を当てた画期的なハンドブックです。全 35 章にわたり、各言語の文字体系の構造的特徴、読み書きの習得過程、認知メカニズム、教育上の課題について学際的かつ包括的に論じます。
　特に注目されるのは、中国語や韓国語と並び、日本語の書記体系が大きく取り上げられている点です。本書では日本語を扱う独立のセクション（Part IV: Japanese）が設けられ、日本語表記体系の特徴から、漢字の認知、語彙処理、眼球運動、識字発達にいたるまでを、5 章にわたって体系的に解説しています。日本の大学に所属する研究者や日本出身の研究者が 9 名も執筆に参加し、日本語における読字・書字の発達過程、かなと漢字の併用がもたらす認知的特徴、第一言語・第二言語としての日本語習得について最新の研究成果を紹介しています。
　日本語、中国語、韓国語をはじめとする多様な書記体系に関する研究を英語で体系的に学べる貴重なレファレンスであり、言語学、心理学、教育学、読書科学、識字研究の研究者・大学院生はもちろん、多言語教育や日本語教育に携わる実務家にも有益な一冊です。

【日本の大学または日本出身の寄稿者】
Terry Joyce（多摩大学）/ 増田 尚（広島修道大学）/ 本田 圭佑（Dublin City University）/ 中山 真理子（東北大学）/ 吉原 将大（東北大学）/ 三輪 恒一（名古屋大学）/ 井上 智洋（香港中文大学）/ 三杯 亜美（筑波大学）第 21 章共同執筆 / Yeongsil Ju（目白大学）

翻訳・通訳

翻訳の文化史（全 6 巻）
A Cultural History of Translation



General Editor: **Lieven D'hulst**, Professor of Francophone Literatures and Translation Studies at KU Leuven, Belgium

2025:10　6 vols. 1,700 p. 240 b/w illus.　set ISBN 978-1-350-17180-0

★在庫特価 10% off（GBP 395）
Web 販売価格￥97,414 (税込) / **標準価格￥127,743** (税込)
通常価格（GBP 440）
Web 販売価格￥114,224 (税込) / **標準価格￥142,296** (税込)
(Bloomsbury Academic) -GB-

在庫特価

太古の昔から、異なる地域や文化を越える言語によるコミュニケーションを可能にしてきた翻訳の営みは、グローバル化やデジタル化、機械翻訳の進化とともに大きく様相を変えてきてはいますが、人類文化にとって重要であり続けています。翻訳の理論と実践にわたる学術的研究は、むしろ近年急速にフィールドを拡大し、言語学、文学、歴史学、地理学、哲学、情報学などの多彩な分野からのアプローチが試みられています。

英 Bloomsbury の定評ある「文化史」シリーズに加わった本書は、143 名もの多数の専門家の執筆協力にて、政治、芸術、宗教をも含む西洋文化 2500 年における翻訳の「文化」の幅広さを捉える、画期的な通史です。時代別の全 6 巻（**古代 / 中世 / 中近世の文化間交流 / 近世のグローバル化 / 近代世界の出現 / 近現代** ）は各巻に共通の章立て（**1. 翻訳者たち / 2. グローバルな概況 / 3. 地理 / 4. 知識 / 5. 文学 / 6. その他の文化実践 / 7. 科学 / 8. メディアと間メディア性** ）で、時代と分野を越える翻訳の主要テーマに沿った比較に適しています。各巻に序文、注記、書誌、索引を含み、240 点もの豊富な図版も視覚的に理解を助けます。日本から、**武田 珂代子**（立教大学 異文化コミュニケーション学部 特別専任教授）、**慶 昭蓉**（京都大学 人文科学研究所 特定准教授）、**岡本 隆司**（早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）、**アミール 偉**（福島県立医科大学助教）、**野原 佳代子**（東京科学大学 環境・社会理工学院 教授）が寄稿しているのが注目されます。

歴史・言語・文学をはじめ人文系全般で幅広い利用が見込めるレファレンスとして、おすすめいたします。

応用言語学

ブルームズベリー版　応用言語学の最前線：
研究課題と方法（全 5 巻）
Bloomsbury Applied Linguistics Research Issues and Methods



在庫特価

Editor: **Alessandro G. Benati**, Professor in the School of Education, University College Dublin

2025:12　5 vols. 1,652 p.　set ISBN 978-1-350-21358-6

★在庫特価 10% OFF ※弊社在庫分限り有効 (特価 GBP 595 / 通常 GBP 660)
Web 販売価格 ￥146,728 (税込) / **標準価格 ￥192,423** (税込)
◇通常価格：Web 販売価格 ￥171,336 (税込) / 標準価格 ￥213,444 (税込)
(Bloomsbury Academic) -GB-

「応用言語学」は、言語教育から社会言語学までの幅広いテーマを含む、言語のあらゆる実践の場にかかわる知見を結集する一大分野です。人気テーマが集中し、競争が非常に激しい分野でもあります。

各巻にて応用言語学の主要テーマを取り上げる全 5 巻セットの本書は、過去の論文の集成ではなく、いずれも第一線の研究者が本書のために書き下ろした全 76 章を収録し、最前線の風景へと案内する、全応用言語

学研究者必携コレクションです。それぞれの研究テーマで今日最も関心を集めている課題と最も重要な方法論の進展を体系的に概観できる構成で、効率よく応用言語学の現在地を確認できます。国内外の著名な研究者が多数寄稿している中で、木村護郎クリストフ（上智大学）、西澤倫（麗澤大学）、ジョン・M・ノリス（ETS Japan）、バトラー後藤裕子（米ペンシルバニア大学）、フロリアン・クルマス（独デュースブルク＝エッセン大学）の名を見ることができます。

21 世紀の応用言語学の最新最大の見取図として、本書をおすすめいたします。

【セット内容】

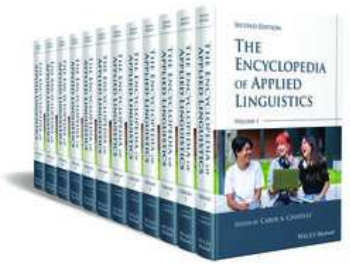
第 1 巻：多言語使用　　Volume I: Multilingualism (359 p.)
第 2 巻：言語政策・計画　Volume II: Language Policy and Planning (355 p.)
第 3 巻：第二言語習得　Volume III: Second Language Acquisition (352 p.)
第 4 巻：語学教育　　Volume IV: Language Teaching and Pedagogy (308 p.)
第 5 巻：語学力評価　　Volume V: Language Assessment (278 p.)

◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録明細をご覧いただけます。

応用言語学百科事典（第 2 版･全 12 巻）

The Encyclopedia of Applied Linguistics

在庫特価



Editor: **Carol A. Chapelle** (Iowa State University, USA)

2nd ed.　2026:04　12 vols. 9,220 p.　ISBN 978-1-119-86389-2

☆刊行記念特価 17% OFF！2027 年 3 月 31 日受付分まで (特価 USD 1996.65/通常 USD 2404.95)

Web 販売価格 ￥392,042 (税込) **/ 標準価格 ￥478,795** (税込)

◇通常価格：Web 販売価格 ￥435,175 (税込) / 標準価格 ￥576,706 (税込)

(Wiley-Blackwell) -US-　日本総代理店：㈱ 紀伊國屋書店

「応用言語学」は、言語を学び用いる実践の場で生じるあらゆる課題を対象とする一大分野ですが、その全体像を初めて体系的にまとめたレファレンスとして全 10 巻セットで刊行された本書の初版（ISBN 9781405194730）は、世界的に好評を博し、日本でも約 140 館もの大学図書館に所蔵されています。

13 年ぶりの新版である本書の第 2 版は、全面改訂の上、初版の全 10 巻から全 12 巻に増補しました。27 の主要分野別に今日の第一線の研究者を監修者として迎えて、言語教育はもちろん、文法、語用論、談話分析、翻訳・通訳、コーパス言語学など、「応用言語学」に含まれる多彩なフィールドを網羅します。認知科学、社会学、教育学といった関連分野の知見の手厚さも群を抜き、新たな潮流を反映します。

グローバル時代の人材養成に不可欠であり続ける応用言語学の全体像に対応する最新・最大・最良の「百科事典」の面目を新たにする本書を、ぜひ新版でもお取り揃えください。

【第 2 版の新規項目例】

応用言語学における機械学習 / 早期バイリンガル教育 / 自動音声認識 / スピーキング評価 / 教育技術としてのゲーミング / 語彙の心理言語学的/ 社会語用論 /日本語作文能力評価 / アジアの英語変種

【日本からの寄稿者例】

石原 紀子 法政大学 教授 / 印南　洋 中央大学 教授 / 江口 政貴 早稲田大学 客員研究員 / 萱 忠義 学習院女子大学 教授 / 倉田 尚美 東海大学 教授 / 小泉 利恵 筑波大学 教授 / 澤木 泰代 早稲田大学 教授 / 鈴木 祐一 早稲田大学 准教授 / 中田　達也 立教大学 教授 / 福井 春菜 立命館大学 准教授 /八島 智子 関西大学 教授 / 山下　淳子 名古屋大学 教授 / Gregory Hadley 新潟大学教授 / Peter Robinson 青山学院大学 教授 / Jonathan Trace 慶應義塾大学 専任講師

◎電子版は、Wiley Online Library にて提供されます。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録項目・寄稿者リストをご覧いただけます。

トランスランゲージ・ハンドブック

The Handbook of Translanguaging

(Blackwell Handbooks in Linguistics)

Editors: **Li Wei**, **Prem Phyak**, **Jerry Won Lee**, and **Ofelia García**

2026:01 592 p. ISBN 978-1-394-22713-6 USD 201.95

Web 販売価格 ￥36,452 (税込) / **標準価格 ￥48,427** (税込)

(Wiley-Blackwell) -US-

在庫



「トランスランゲージ」は、近年の応用言語学で最も注目を集めている概念の一つです。複数の言語を話す人々が持てるリソースをフル活用して、例えば日本語なら日本語、英語なら英語のみを話そうとすることにこだわらず、相互理解やコミュニケーションを促進するために、日本語と英語を柔軟に行ったり来たりする活動を意味し、語学教育などの実践に革新的な変化をもたらしています。

本書は、「トランスランゲージ」を取り上げる初のハンドブックです。全 33 章にて、「トランスランゲージ」の歴史・理論・方法的基礎から、教育における役割、デジタル・コミュニケーション、メディア、ジェンダー、社会正義との接点まで、その可能性を極めつくします。

第二言語習得、バイリンガル・多言語教育、翻訳、言語政策、社会言語学などの分野で急激に受け入れられ発展し続けている「トランスランゲージ」のアプローチの最新の全体像に迫るために、必携の一冊です。

◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録明細をご覧いただけます。

歴史言語学・比較言語学

ワイリー・ブラックウェル版

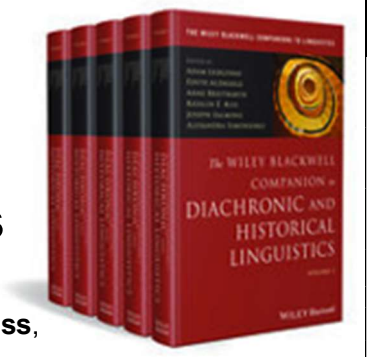
通時・歴史言語大全（全 5 巻）

在庫特価

The Wiley Blackwell Companion to Diachronic and Historical Linguistics

(The Wiley Blackwell Companions to Linguistics)

Editors: **Adam Ledgeway**, **Edith Aldridge**, **Anne Breitbarth**, **Katalin E. Kiss**, **Joseph Salmons** & **Alexandra Simonenko**



2026:04 5 vols. 3,536 p. set ISBN 978-1-119-89801-6

☆刊行記念特価 12% OFF！2027 年 3 月 31 日受付分まで (特価 USD 895.50 / 通常 USD1024.95)

Web 販売価格 ￥175,830 (税込) / **標準価格 ￥214,740** (税込)

◇通常価格：Web 販売価格 ￥185,464 (税込) / 標準価格 ￥245,782 (税込)

(Wiley-Blackwell) -US- 日本総代理店：㈱ 紀伊國屋書店

20 世紀の言語学は基本的にソシュールのいわゆる「共時言語学」の探究が主流を占めていましたが、近年、理論言語学においても言語進化との関連で通時的なアプローチの重要性が認識され、認知言語学や社会言語学も言語変化を一大テーマとしています。21 世紀の言語学において「通時・歴史言語学」は、個別のフィールドを越える大きな求心力を得て発展し続け、未来の期待も担っている分野です。

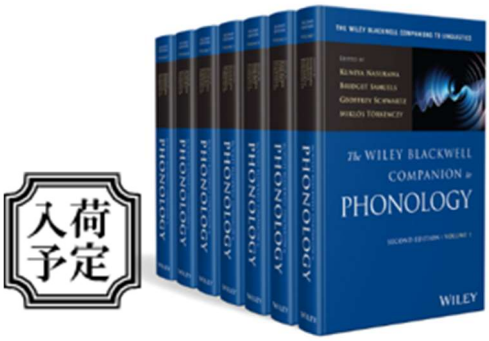
言語学の各主要分野の「ケーススタディの百科事典」（’encyclopedias of case studies'）とも形容される、最新・最良・最大の研究便覧との声価を確立したシリーズ The Wiley Blackwell Companions to Linguistics から刊行された本書「通時・歴史言語学大全」は、今日の代表的な研究者が 150 人以上も寄稿し、音韻論、統語論、意味論、語用論といった言語学の主要分野を網羅するばかりでなく、心理学、生物学、人類学、社会学といった関連分野の知見をも結びつけ、言語システムの変化・変異と社会・環境的要因の相互作用の諸相を、世界の多数の言語（手話を含む）の事例に基づき、詳説します。

21 世紀の言語学と関連領域の関心を結びつけるトレンドとなった、通時的アプローチの最前線および全体

像に対応する本書は、言語学全体で共有すべきレファレンスとして、広くおすすめできます。
◎電子版は、Wiley Online Library にて提供されます。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
　収録項目・寄稿者リストをご覧いただけます。

音韻論・音声学

那須川 訓也（東北学院大学）共編
ワイリー版　音韻論大全（第 2 版･全 7 巻）
The Wiley Companion to Phonology 2nd ed
(The Wiley Companions to Linguistics)



Editors: **Kuniya Nasukawa** (Professor of English Linguistics at Tohoku Gakuin University, Japan); **Bridget Samuels**; **Geoffrey Schwartz**; **Miklós Törkenczy**

2026:12　7 vols. 3,710 p.　set ISBN 978-1-394-16600-8　USD 1250.00
Web 販売価格　￥226,187 (税込) / **標準価格　￥299,750** (税込)
(Wiley) -US-

　言語の音韻体系を探究する「音韻論」は、言語学の中でも長い歴史を誇る分野であるとともに、統語論や形態論と並んで言語学全体の理論的な発展においても中心的な役割を担ってきました。
　言語学の各主要分野の「ケーススタディの百科事典」('encyclopedias of case studies') とも形容される、最新・最良・最大の研究便覧との声価を確立したシリーズ The Wiley Companions to Linguistics から、「統語論大全」「意味論大全」「形態論大全」「通時・歴史言語学大全」に続き、「音韻論大全」の待望の新版が登場します。2011 年に刊行された初版（ISBN 9781405184236）から 15 年ぶりに、那須川訓也（東北学院大学教授）らの新たな編者たちを迎えて刷新された第 2 版は、新たな寄稿者の協力も得て初版から引き継ぐ全 124 章を全面的にアップデート、整理統合するとともに、全く新たに 50 章も収録し、初版の全 5 巻から全 7 巻にふくらみました。「言語ゲーム」「オノマトペ」「音韻論的曖昧性」「音韻論への用法基盤アプローチ」など、音韻論を越えて他の分野でも注目度の高いトピックに対応しました。世界の多様な言語に対応し、英米圏以外からも多数の寄稿者を集めました。
　各章で音韻論の第一人者たちが精選した重要トピックを詳細に論じ、理論構築の基盤となる具体的な音韻現象や事例のデータも豊富に盛り込まれた本書は、他の「言語学大全」シリーズのセットとともに、理論言語学全体で共有すべき発展的なレファレンスとして、広くおすすめできます。

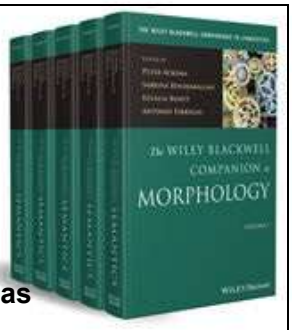
【日本からの寄稿者】
那須川訓也 東北学院大 文学部 教授（編者）/ 上田 功 名古屋外国語大学 外国語学部 教授 / 窪園 晴夫 国立国語研究所 名誉教授 / 高橋 豊美 東洋大学 法学部 教授 / 田中 伸一 東京大学 総合文化研究科 言語情報科学専攻 教授 / 時崎 久夫 札幌大学 地域共創学群 教授 / ポッペ クレメンス（Clemens Poppe）早稲田大学 教育学部 准教授

【収録項目例】
Pitch Accent Systems / Geminates / Meter and prosody in verbal art / Sign Syllables / Hypocoristics / The Representation of Rhotics / Onsets / Metathesis / Markedness / The Representation of Tone / The Phonology of Movement in Sign Language / Schwa / Tonal Alignment / The Emergence of the Unmarked / Dissimilation / Structure Preservation: The Resilience of Distinctive Information / Long-distance Assimilation of Consonants / Clitics / Cyclicity / Vowel Harmony: Opaque and Transparent Vowels / Sound Change

◎電子版は、Wiley Online Library にて提供されます。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
　収録項目・寄稿者リストをご覧いただけます。

文法理論（統語論・形態論）

ワイリー・ブラックウェル版 形態論大全（全 5 巻）
The Wiley Blackwell Companion to Morphology
(The Wiley Blackwell Companions to Linguistics)



在庫特価

Editors: **Peter Ackema**, **Sabrina Bendjaballah**, **Eulàlia Bonet** & **Antonio Fábregas**

2023:09　5 vols. 2,709 p.　set ISBN 978-1-119-69357-4

☆在庫特価 22% OFF！2027 年 2 月 28 日受付分まで（特価 USD 796 / 通常 USD 1024.95）

Web 販売価格　￥153,230 (税込) / **標準価格　￥190,880** (税込)

※通常価格：**Web 販売価格　￥185,464** (税込) / **標準価格　￥245,782** (税込)

(Wiley-Blackwell) -US-　**日本総代理店：㈱ 紀伊國屋書店**

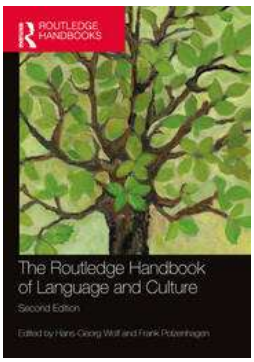
言語学の一分野で、語の構造を分析対象とする「形態論」は、近年、統語論や意味論などの他の文法部門とのインターフェイスを探る言語理論の大きな潮流との関連でも、ひときわ大きな注目を集めています。

言語学の各主要分野の最新・最良・最大の研究便覧として声価を確立しているシリーズ The Wiley Blackwell Companions to Linguistics から、「統語論大全」「意味論大全」に続く「形態論大全」も遂に出揃ったというかたちです。斯界の著名研究者 Peter Ackema らを編者に迎えて、今日の代表的な形態論研究者たちが寄稿した全 80 章以上を収録する本書は、まさに形態論の百科事典、大全的な性格を備えています。形態論の歴史と発展から最前線、統語論や音韻論とのインターフェイスまでを網羅します。全て査読済みの各章は、テーマ別の「ケーススタディ」のかたちで、堅固な理論と実証的データに支えられた言語学的分析・説明・文脈化の何たるかを遺憾なく示す内容となっています。日本から、山田彬尭（慶應義塾大学）と辰己雄太（明海大学）が寄稿しています。

言語の基本的な単位である語の研究を究めるために不可欠のプラットフォームとなるであろう本書は、形態論はもちろん、理論言語学全体で共有すべきレファレンスとして、広くおすすめできます。

◎電子版は、Wiley Online Library にて提供されます。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
　収録項目・寄稿者リストをご覧いただけます。

ラウトレッジ版 言語と文化ハンドブック（第 2 版）
The Routledge Handbook of Language and Culture, 2nd ed.
(Routledge Handbooks in Linguistics)



在庫特価

Editors: **Hans-Georg Wolf** / **Frank Polzenhagen**

2026:03　598 p.　ISBN 978-1-032-41418-8

★在庫特価 25% OFF (特価 GBP 196 /通常 GBP 260)

Web 販売価格　￥48,337 (税込) / **標準価格　￥63,386** (税込)

※通常価格 Web 販売価格　￥64,121 (税込) / **標準価格　￥84,084** (税込)

(Routledge) -GB-

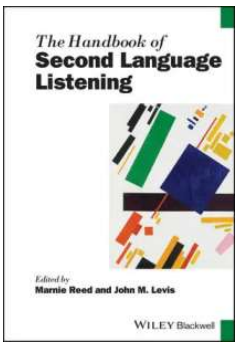
認知言語学、認知心理学、認知人類学、言語人類学、文化人類学、社会言語学などの第一線の研究者たちが寄稿し、言語学と認知科学の注目テーマ「言語と文化」をめぐる最前線の議論をまとめた好評ハン

ドブック（初版 ISBN 9780415527019）の 11 年ぶりの新版。初版の編者 Farzad Sharifian の遺産を受け継ぎつつ全面改訂、構成も大幅に刷新、全 33 章から全 36 章に。異文化間コミュニケーションなどの応用領域を拡充。

【収録明細】
Introduction, overview, and outlook 1 Language and culture: introduction to the Handbook / 2 The future agenda for research on language and culture
PART 1: The study of language and culture: the wider framework 3 Precursors and historical background / 4 Cognitive anthropology / 5 Cultural semiotics / 6 Sociolinguistics and contact linguistics Part A: Sociolinguistics Part B: Contact linguistics / 7 Ethnopragmatics / 8 Context in intercultural pragmatics / 9 Cultural Linguistics Part A: Overview Part B: Recent developments / 10 Methods in the study of language and culture
PART 2: The study of language and culture: key domains of analysis 11 Language, culture, and identity / 12 Language, culture, and gender / 13 Language, culture, and politeness / 14 Language, culture, and interaction / 15 Language, culture, and discourse / 16 Language and subcultures / 17 Language, culture, and linguistic prehistory / 18 Language, culture, and kinship systems / 19 Language, culture, and colour categorization / 20 Language, culture, and emotion concepts
PART 3: Language, culture, and cognition 21 Language, culture, and embodiment / 22 Culture and language development / 23 Culture and language processing / 24 Language and cultural scripts / 25 Language, culture, and metaphor / 26 Language, culture, and prototypicality / 27 Language, culture, and spatial cognition / 28 Language, culture, and space-time mapping
PART 4: Language and culture in applied domains 29 Language, culture, and intercultural communication / 30 Language, culture, and world Englishes / 31 Language, culture, and second dialect learning / 32 Language, culture, and higher education / 33 Language, culture, and second-language writing / 34 Language, culture, and translation / 35 Language, culture, and the workplace / 36 Language, culture, and gesture

言語習得（発達）

第二言語聴解ハンドブック
The Handbook of Second Language Listening



Editors: **Marnie Reed** and **John M. Levis**

在庫

2026:02 496 p. ISBN 978-1-394-31234-4 USD 200.95
Web 販売価格 ￥36,361 (税込) / **標準価格 ￥48,187** (税込)
(Wiley-Blackwell) -US-

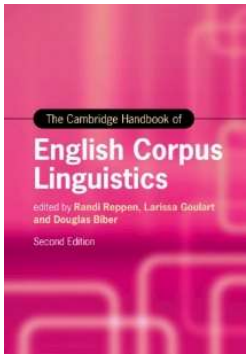
リスニングはスピーキングに不可欠という意味でも、四技能の中でも重要な位置を占め、心理言語学的な研究も進んでいます。
本書は、第二言語習得研究におけるリスニングの最新の全体像に迫るべく、全 31 章を「第一・第二言語」「知覚」「研究・評価」「基礎的アプローチと概念」「技術的サポート」「実践的考察」のセクション別に収録します。最新の理論と実践を結びつけることで、学習者の多様性、教授法デザイン、発音との接点といったトピックにもエビデンスに基づく知見をもたらし、綴り字の音声近くへの影響といった見過ごされがちな論点にも光を当てます。新谷奈津子・関西大学教授らの日本からの研究成果も含まれています。
英語教育のコアともいうべきテーマの最新にして包括的な内容を盛った、必携の一冊として、おすすめいたします

【収録明細例】
26. Listening in task-based language teaching (Natsuko Shintani 新谷 奈津子・関西大学教授 & Aki Tsunemoto 常本 亜希・東北大学准教授)
29. Vocabulary and L2 listening (Takumi Uchihara 内原 卓海・東北大学准教授)

◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録明細をご覧いただけます。

英語学

ケンブリッジ版 英語コーパス言語学ハンドブック（第 2 版）
The Cambridge Handbook of English Corpus Linguistics
(Cambridge Handbooks in Language and Linguistics)



Edited by **Douglas Biber**, **Larissa Goulart**, and **Randi Reppen**

2nd ed. 2026:07 638 p. ISBN 978-1-009-47786-4 GBP 125

Web 販売価格 ￥32,450 (税込) / **標準価格 ￥40,425** (税込)

(Cambridge University Press) -GB-

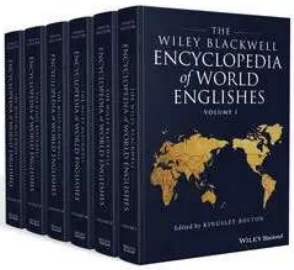
好評シリーズ「ケンブリッジ版 言語・言語学ハンドブック」の新刊は、英語学・英語教育学全般で広く応用されるコーパス研究法の最前線へと読者を案内し特に好評を得た「英語コーパス言語学ハンドブック」（初版 ISBN 9781107037380）の 11 年ぶりの新版です。

コーパス言語学の著名テキストや基本文献集で知られる第一人者 Douglas Biber らを編者とする本書は、全 29 章にわたって方法と応用にわたる重要トピックを網羅し、初版刊行後の急速な研究の進展を踏まえて、全体の 6 割以上の章を寄稿者を含めて全面的に入れ替え、新たな章では「オンライン言語」「法律の言語」「学習者言語における語彙的複雑性」といった近年の潮流を取り上げます。

英語学・英語教育に携わる方々にとって必携のレファレンスして、新版のご購入をおすすめいたします。

ワイリー・ブラックウェル版 世界英語百科事典（全 6 巻）
The Wiley Blackwell Encyclopedia of World Englishes

在庫特価



Editor: **Kingsley Bolton**, Professor Emeritus, Stockholm University, Sweden

2025:03 6 vols. 4,872 p. ISBN 978-1-119-51831-0

☆刊行記念特価 30% OFF！2027 年 2 月 28 日受付分まで（特価 USD 1003.20/通常 USD1441.95）

Web 販売価格 ￥193,116 (税込) / **標準価格 ￥240,566** (税込)

◇通常価格：Web 販売価格 ￥260,920 (税込) / **標準価格 ￥345,779** (税込)

(Wiley-Blackwell) -US- **日本総代理店：㈱ 紀伊國屋書店**

英語が事実上の世界共通語に近い位置を占めるグローバル時代の現在、英語はネイティブだけのものではなく、世界の英語人口 15 億人と推計されるうちで、英語を第二言語・外国語として使用する人々が約 4 分の 3 を占めています。近年「標準英語」を超えて、世界各地で独自の進化を遂げている英語変種の総称「世界英語」（World Englishes）が、実践的にも学術的にも、大きな注目を集めている所以です。

世界英語研究を牽引してきたキングスリー・ボルトン（ストックホルム大学名誉教授）を編者に迎えた本書は、待望されていた「世界英語」の全体像に迫る初の「百科事典」です。全 6 巻にて、多数の世界的専門家が本書のために書き下ろした 394 項目（アルファベット順）を収録します。各項目は、各地の英語変種の言語学的特徴から、歴史的文脈、世界英語研究の基礎的な概念、最新の理論・方法論的アプローチ、社会的論点、重要人物にいたるまで、類書に見られない包括的かつ詳細な解説の宝庫です。注目度の高いトピックとしては、「TESOL」や「トランスランゲージング」を含みます。日本関連の項目は「日本英語」（藤原康弘・名城大学教授ほか）「日本における英語」「J ポップ音楽と世界英語」があり、日本の研究者からの寄稿としては、松本和子・東京大学教授による「ミクロネシアにおける英語の歴史」、村田久美子・早稲田大学名誉教授による「拡大円社会における ELF：アジアへの焦点」などが見られます。

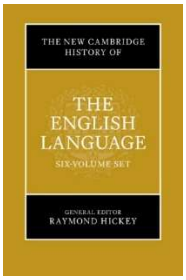
ますます国際化していく時代の他者理解の基盤となるレファレンスとして、図書館に必備です。

【収録項目例】
United Kingdom, Accent and Identity in the / United Kingdom, Attitudes to Englishes in the / British English / London English (Cockney) / East Midlands English / Estuary English Tyneside English (Geordie) /Migrant Englishes Worldwide / Lancashire English / Liverpool English (Scouse) / Modern English / Multicultural London English / Multilingualism and English in the United Kingdom / United Kingdom, Northern Englishes / Old English / Received Pronunciation / United Kingdom, Prestige Accents in the / Standard Southern British English / United Kingdom, Urban Varieties of English in the / West Country English / West Midlands English / Yorkshire English / Middle English / United Kingdom, Varieties of English in the / US English and Globalization / Economics of English Worldwide, The / English-Language Advertising Worldwide/ **Japan, English in** / Kazakhstan, English in / South Korea, English in/ **Japanese English** / **J-Pop Music and World Englishes** / K-Pop Music and World Englishes

◎電子版は、Wiley Online Library にて提供されます。
◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録項目・寄稿者リストをご覧いただけます。

新ケンブリッジ版 英語史（全６巻）

The New Cambridge History of the English Language



Genral Editor: **Raymond Hickey**, University of Limerick

2026:05 6 vols. 5,552 p. ISBN 978-1-009-20202-2 GBP 950

Web 販売価格 ￥246,620 (税込) / **標準価格 ￥307,230** (税込)
(Cambridge University Press) -GB-

ケンブリッジ大学出版の 20 世紀の著名シリーズ「ケンブリッジ版 英語史」全 6 巻（1992-2001 年）**The Cambridge History of the English Language**（日本国内では 250 を超える大学図書館に所蔵）に続く、待望の「新ケンブリッジ版 英語史」全 6 巻のセットです。

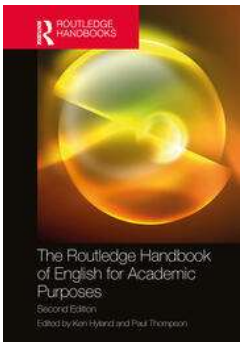
本書は、英語史のあらゆる側面を対象とし、過去 25 年間に得られた最新の英語史研究の成果を概観します。この分野を代表する第一線の研究者を結集した本書は、全 6 巻・171 章にわたって、近年の研究動向や理論的アプローチに焦点を当てるとともに、英語史の様々な下位分野に関する最先端の知見を示します。本書の寄稿者には、総編集者である Raymond Hickey をはじめ、David Crystal、Terttu Nevalainen、Lesley Milroy、Walt Wolfram、山口登志子、三浦あゆみ、松本和子らが名を連ねます。まず**第 1 巻**では、1 千年紀における英語の形成過程に焦点を当て英語史を理解するための歴史的枠組み（印欧語族・ゲルマン語派としての背景、音韻論・形態論の諸要素がいかに古英語期まで存続したのか、初期英語話者と他言語話者の間の言語接触など）を検討します。**第 2 巻**では、英語史を記録する多様なテクストを対象に、通時的データ、文献資料を取り上げ、言語分析のための理論モデルを示します。**第 3 巻**では、英語史における言語変化がいかに顕在化してきたかに焦点を当て、辞書や文法書を通じた英語の伝達から、デジタル手段による伝播まで、英語がいかに継承・共有されてきたかを検討します。第 4 巻以降では、各地域の英語史に焦点を当て、まず**第 4 巻**では、イギリス、アイルランド、ヨーロッパにおける地域変種としての英語の歴史（初期ロンドン英語、スコッツ語、標準スコットランド英語など）を取り上げ、**第 5 巻**では、北米、カリブ海地域における英語の歴史（初期入植者集団の英語から、現代のアメリカ合衆国、カナダ、カリブ地域の英語まで）を詳述します。**第 6 巻**は、二部構成となっており、第 1 部ではアフリカにおける英語変種を取り上げ、西・東・南アフリカは歴史的背景、人口動態の違いにより、それぞれ異なる言語生態を有していることを示しています。第 2 部ではアジア、オーストラリア、太平洋地域における英語の変種を取り上げ、アジアの中でも南・東南アジアでは英語変種の性質に共通点が見られ、東アジアの英語変種の重要性が近年増していることを指摘しています。
英語学・英語教育に携わる方々にとって必携のレファレンスとして本書をおすすめいたします。

◎右記 QR コードより、弊社ポータルサイト「教育と研究の未来」上にて
収録明細をご覧いただけます。

英語教育学

ラウトレッジ版 学術のための英語ハンドブック（第２版）

The Routledge Handbook of English for Academic Purposes , 2nd ed (Routledge Handbooks in Applied Linguistics)





Editors: **Ken Hyland** / **Paul Thompson**

2026:03 676 p. ISBN 978-1-032-78382-6

★在庫特価 25% OFF (特価 GBP 196 /通常 GBP 260)

Web 販売価格 ￥48,337 (税込) / **標準価格 ￥63,386** (税込)

※通常価格 Web 販売価格 ￥64,121 (税込) / **標準価格 ￥84,084** (税込)

(Routledge) -GB-

英語教育で近年急成長してきた分野「EAP」の全体像を初めて示した画期的なハンドブック（初版 ISBN 9781138774711）の 10 年ぶりの新版。「EAP」の確立と急速な発展を踏まえて全面的に改訂、計量文献学的アプローチ、デジタル、3 分間論文、オンライン教授、人工知能、教師の専門性などの新たなトピックに対応。

ロマンス諸語

世界スペイン語方言事典（全２巻）

Enciclopedia concisa de los dialectos del español en el mundo



Editado por: **Manuel Díaz-Campos**, es profesor de Lingüística Hispana en la Universidad de Indiana y **Juan Manuel Hernández-Campoy**, es professor de Sociolingüística en la Universidad de Murcia

2025:08 2 vols. 1,104 p. ISBN 978-1-119-90908-8 set USD 401.95

Web 販売価格￥72,232 (税込) / **標準価格￥96,387** (税込)

(Wiley-Blackwell) -US-

スペイン語は、世界で第 4 位の 5 億人を超える総話者人口を誇り、主としてスペインと中南米に分布していますが、米国でもスペイン話者は 5 千万人を超え英語話者に次ぐ大きな存在感を持っています。

本書は、世界各地で用いられている多様なスペイン語の方言を知るための最も包括的なレファレンスです。全 2 巻、全 107 項目は、本文も全てスペイン語で、各地域の専門家が執筆しました。ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、アフリカの各地のスペイン語および数多くの言語接触により生まれた変種について、それぞれ音声・文法・語彙的な特徴を豊富な定性・定量データ、具体的な言語現象とともに解説します。世界的な社会言語学者である Manuel Díaz-Campos が共編者で、スペイン語の社会言語学や言語接触の側面が強調されているのも特長です。

グローバルに重要性を増すスペイン語の研究と教育にはもちろん、方言学・社会言語学およびスペイン語圏地域研究における新たな必携書として、おすすめいたします。

【収録内容】

【Volumen I】Sección 1 Variación Fonológica Español Europeo / Español Americano / Español Andino / Español Caribeño / Español Rioplatense y Chileno / Español de México y Centroamérica / Español Africano Y Asiático / Español En Contacto Con Otras Lenguas / Judeoespañol

【Volumen II】Sección 2 Variación Gramático- Léxica Español Europeo / Español Americano / Español Andino / Español Caribeño / Español Rioplatense y Chileno / Español de México y Centroamérica / Español Africano Y Asiático / Español En Contacto Con Otras Lenguas / Judeoespañol / Español Mundial